

COG2025 応募内容確認書

ID	47-24-1
自治体名	兵庫県宝塚市
自治体提示地域課題	田園地域の活性化
チーム名	雲雀丘学園高等学校 地域共生ゼミ
アイデア名	土の“わ”-プロジェクト 高校生がつなげる地域共生社会
チーム属性	学生：学生（ ）だけで構成されたチーム
チームメンバー数	10
代表者	和田 由起子
メンバー（公開）	和田 由起子, 小寺 智, 酒井 嶺欧, 村上 幸太, 山崎 文暁, 蛭子 梨津子, 小川 紫, 木原 萌衣, 山内 祐果

【確認事項】

- < 応募のPDFファイル名と送付先 > 確認しました。
- < 応募内容の公開 > 確認しました。
- < 知的所有権・肖像権 > 確認しました。問題ありません。

チャレンジオープンガバナンス 2025 応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	-(事務局用)	田園地域の活性化	宝塚市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	土の“わ”-プロジェクト 高校生がつなげる地域共生社会		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 **下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください**

チーム名(公開)	雲雀丘学園中高等学校 地域共生ゼミ
----------	-------------------

1. アイデアの全体像(What)

1-1. 提案するアイデアのあらまし

【課題解決】

「伝統×教育×福祉 西谷モデルで挑む、持続可能な地域再生。」

休耕田の解消、文化財の維持そして高齢者の生きがい創出。3つの地域課題を「ちまき作り」の食の“和”と「100人お米作りプロジェクト」人とのつながりの“輪”という2つの“わ”で解決します。将来的には特任校制度をもっている西谷の学校に全世代型農業体験ができる国際バカロレア教育として小中学生の誘致をはかります。将来的には、全世代型の交流場所として、「茅葺き民家」を活用していきます。ボランティア証明書の発行により、都市部の学生を呼び込み、西谷を「心の故郷」にする関係人口の創出を目指します。

西谷(田園地域)が直面する3つの空白

- ①担い手の失った「農地の空白」 ②世代の交わらない「世代の空白」 ③人を遠ざける「交通の空白」



1-2. 提案するアイデアの内容 (5W1H)

【What】(何を): 具体的なサービス・活動、新規性農

期待される効果

農業で幼児・児童・中学生・高校生・大学生・青壮年・高齢者

すべての世代がつながる “輪”

- ① **休耕田**の活用を**高校生**がサポート
→高校生が休耕田を耕サポート
- ② **西谷地区の無形文化遺産【ちまき】** 食の“**和**”の継承
→高校生と地域の方とちまきづくり
- ③ **全世代型農業体験**のできる**特認校**として西谷に**小・中学生**を誘致
→スクールバスにより交通の空白解消

Vision



Hearing



Tactile



Smell



Taste



全世代に五感を使った【生きる力】の育成

高齢者が高校生などの若い世代と話しをするきっかけができる→高齢者の活力UP!

アンケート結果より



【Who】(誰に)：対象者・受益者（主体的関与も含む）

参加者	得られる価値(ベネフィット)	地域の課題解決
若者	生きる力・ボランティア実績、自己肯定感	教育支援
高齢者	役割といきがい、多世代交流、伝統の継承	健康寿命延伸・知恵の継承
地域・西谷	休耕田の活用、文化財の活用、関係人口の増加	耕作放棄地

【2024年 100人お米作りプロジェクトとコラボレーション】

4月

【田起こし】



5・6月

【田植え】



7月

【案山子作り】



9月

【収穫】



10月

【脱穀】



- ① 「関係人口の基地（ベース）」：単なる観光客ではなく、継続的に関わる人を増やします。
- ② 「二拠点活動の入り口」：宝塚市中心部や都市部の若者が、西谷を第二の拠点にします。
- ③ 「世代を超えたソーシャルハブ」：茅葺き民家が、あらゆる世代が繋がるハブ（中心地）になります。

2. アイデアの理由(Why)

理由・根拠・データによる裏付け

2-1. 理由のポイント 【アイデアがよいと考える理由を簡潔に記載】

① 農業&里山 西谷地区 バス路線廃止!! ~西谷バス 1世紀の幕を閉じる~

田園風景が広がる北部山間部の西谷地区は、宝塚市の面積の3分の2を占めます。西谷地域では阪急バス武田尾線が運行しており、地域住民の通勤通学、買い物など日常生活に必要不可欠な移動手段となっています。この地域の住民の移動や通学を担う阪急バス路線が令和9年(2027年)3月末頃廃止されます。

昨今の社会情勢の影響を受け、利用者数の減少や深刻化する運転士不足、燃料価格の高騰などにより路線バスを取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。武田尾線については、利用者が非常に少ない状況が続いており、市から補助することで運行を継続

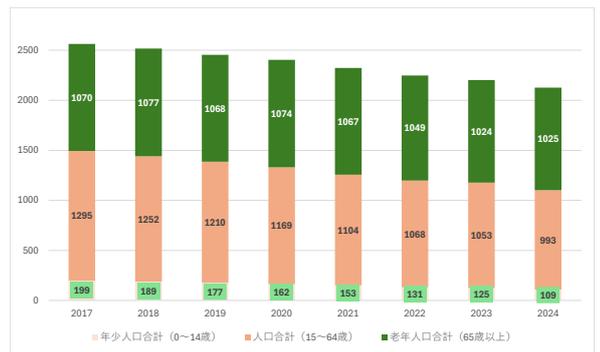
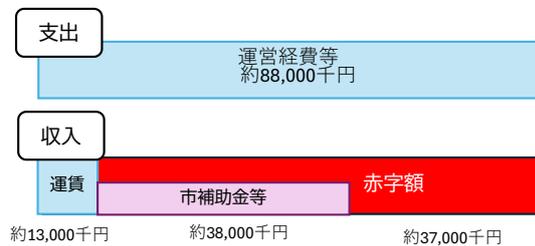


図1 宝塚市西谷地区の人口推移

資料：宝塚市地域カルテ 202409 更新版

していたものの、大幅な赤字が生じました。事業者においても運行継続に向けた努力を続けてきましたが、赤字の解消や人材確保の見通しが立たず、やむを得ず路線を廃止するという決定に至っています。

【昨年度収支状況】	
赤字額(※1)	約 75,000 千円
市補助金等	約 38,000 千円
不足額	約 37,000 千円
(※1)赤字額 = 運行経費 - 運賃収入	



資料：令和7年宝塚市交通政策課 教育企画課

② 特認校制度 & 公立日本初！ 西谷地域国際バカロレア教育導入へ！ 学校教育部 教育支援課



図1 宝塚市中学校ごとの児童数

資料：令和7年宝塚市中学校ごとの生徒数

西谷地域の小中の児童・生徒数は激減しており、特認校制度のある西谷地区の小中学生の誘致を行います。そのために全世代型農業体験を通じて人とのつながり学びや五感の発達を通じた人間育成をおこなっていきます。将来的には不登校生などの学び直しの場所を視野にいれながら、若者の「居場所」へと再興していきます。

西谷地区で全世代型農業体験の学びの場として誘致することにより交通インフラの再生を図ります。コミュニティ加入率の高い西谷地区では、高齢者の協働の取り組みの可能性が見込まれます。全世代型の交流が、人間教育として、国際バカロレア教育の思考力・表現力を養い、国際性豊かな子どもの成長を促します。

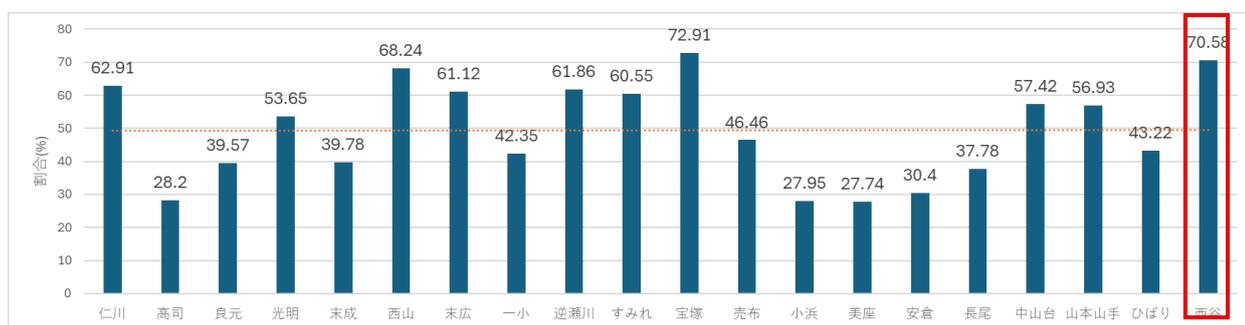


図2 各まち協のコミュニティ加入率の割合

2-2. 根拠と裏付け 【有効性の筋道を明確にし、データや事例で補強してください。具体的効果についても定量・定性データがあると説得力が増します】公益財団法人 長寿科学振興財団 長寿ネットイレブンチェック 西谷(農業地区)のフレイル予防：農業や家庭菜園をしている高齢者は、活気があふれていると物の忘れがあまり気にならないことに正の相関が高い傾向が見られます。同意を得てアンケートを行った結果をいかに示します。

長尾台などまちづくり協議

項目	はい	いいえ
1. ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気を付けた食事を心がけていますか	60	6
2. 野菜料理と主菜（お肉またはお魚）を両方も毎日2回以上は食べていますか	53	13
3. 「さきいか」、「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛み切れますか	63	3
4. お茶や汁物でむせることがありますか	9	57
5. 1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか	49	17
6. 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	60	6
7. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	53	13
8. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	20	46
9. 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	52	14
10. 自分が活気に溢れていると思いますか	43	23
11. 何よりも、物忘れが気になりますか	39	26

図3 アンケート

西谷などまちづくり協議会

項目	はい	いいえ
1. ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気を付けた食事を心がけていますか	13	4
2. 野菜料理と主菜（お肉またはお魚）を両方も毎日2回以上は食べていますか	15	2
3. 「さきいか」、「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛み切れますか	11	6
4. お茶や汁物でむせることがありますか	3	14
5. 1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか	8	9
6. 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	8	9
7. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	7	9
8. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	3	14
9. 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	10	7
10. 自分が活気に溢れていると思いますか	10	7
11. 何よりも、物忘れが気になりますか	8	9

図4 アンケート回答者属性

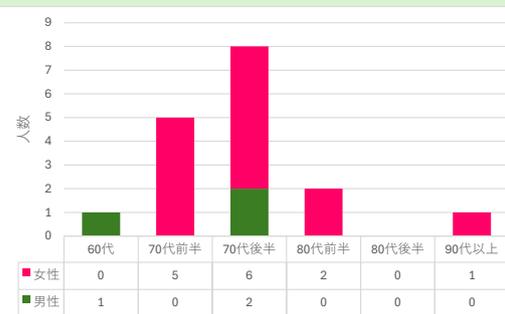
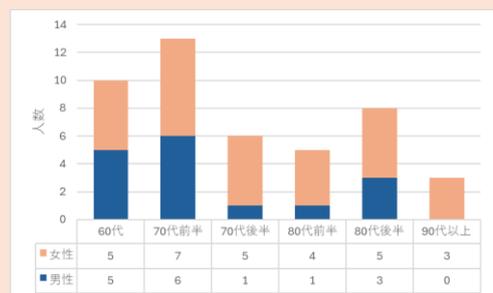


図5 アンケート回答結果

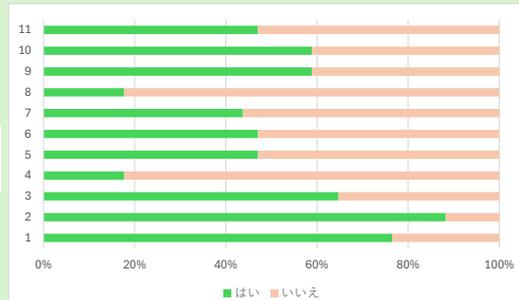
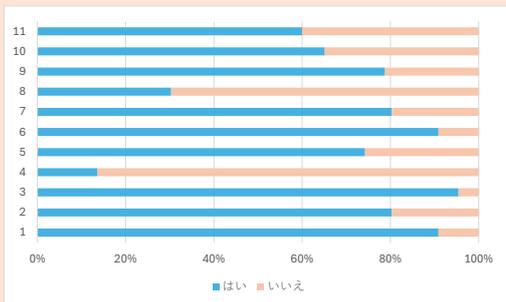


表1 長尾台アンケート項目の相関係数 n=66

長尾台などまちづくり協議会											
	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11
項目1	1.00	0.37	-0.07	-0.03	0.05	0.08	0.11	-0.02	0.09	0.10	-0.05
項目2		1.00	-0.11	-0.36	0.23	0.11	0.14	0.08	0.30	-0.04	0.13
項目3			1.00	-0.13	0.20	0.44	0.07	-0.17	0.24	-0.16	-0.03
項目4				1.00	-0.17	-0.03	0.09	0.03	-0.12	-0.27	0.15
項目5					1.00	0.18	0.06	-0.29	-0.05	0.15	-0.14
項目6						1.00	0.24	-0.02	0.35	-0.12	-0.05
項目7							1.00	-0.42	-0.07	0.20	-0.33
項目8								1.00	0.10	-0.21	0.35
項目9									1.00	-0.38	0.17
項目10										1.00	-0.54
項目11											1.00

表2 西谷アンケート項目の相関係数 n=17

西谷などまちづくり協議会											
	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11
項目1	1.00	0.66	-0.41	0.26	0.25	-0.03	-0.10	0.26	-0.18	0.10	0.25
項目2		1.00	-0.27	0.17	0.34	-0.34	-0.07	0.17	0.07	0.44	0.34
項目3			1.00	-0.30	-0.04	-0.29	0.37	-0.30	0.38	-0.12	-0.29
項目4				1.00	0.18	0.18	-0.39	0.19	-0.24	0.07	0.18
項目5					1.00	0.06	-0.31	-0.44	0.07	0.31	-0.18
項目6						1.00	0.17	-0.13	0.07	0.55	0.06
項目7							1.00	-0.39	0.46	0.21	-0.31
項目8								1.00	-0.24	-0.24	0.49
項目9									1.00	0.03	0.07
項目10										1.00	0.07
項目11											1.00

項目8「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」社会参加
項目11「何よりも、物忘れが気になりますか」
外出する的な社会参加側面と認知の側面がどちらも相関が高い傾向がみられた

【食事・運動・活度・認知】
【食事】：+要素 項目1, 2, 3,
-要素 項目4
【運動】：+要素 項目5, 6, 7
-要素 項目8
【活度】：+要素 項目9, 10
【認知】：-要素 項目11

農業地区の西谷

食事の栄養について運動・活度・認知において相関が高い傾向にあった

3. 実現までの流れ (HOW) 実施体制・資源・スケジュール・実現可能性

実現する主体 必要資源（ヒト・モノ・カネ）と調達方法 実現までのプロセスとスケジュール 制度的制約がある場合の対応策

3-1. 実現する主体 【誰が（組織・団体・個人）が実行するか】

雲雀丘学園中高等学校：宝塚にしたに里山ラボ・地域コミュニティ・宝塚市とともに地域課題を考え、デザインします。

宝塚市：地域コミュニティと連携したイベントの支援を行います。

3-2. 必要な資源と調達方法

【Who（誰が）】：実施者・組織

【ヒト】

1,地域コミュニティ

地域コミュニティと宝塚市役所の担当課の方とともに協働で話し合い、地域課題について取り組みます。

2,宝塚にしたに里山ラボ

100人お米プロジェクトと連携を行い、休耕田の活用や西谷商品開発を行います。

3,宝塚市

イベントの広報活動を行なってもらうことでより多くの市民の方にフレイルの周知を行い、地域のボランティア活動を推進していく。若者にボランティア証明書を発行してもらうことでさらなる若年層のボランティアを誘致します。

4,ネットヨタ神戸

教超小型COMSの電気自動車の駅前設置を検討し、市民の新たな交通を検討してもらいます。

【モノ】西谷地区の農産物 ・（みらい）教超小型COMS・

【カネ】（みらい）クラウドファンディングや西谷の農産物の売り上げで、かやぶき民家の内装修繕費に寄付していきます。



3-3. 実現までのプロセスと時間軸 【ステップ・スケジュール・マイルストーンの明示】

【実現へのロードマップ】

2026



- ・【100人お米プロジェクト】
- ・休耕田の耕しのサポート
- ・ちまき作りイベント
- ・西谷農作物商品企画



- ・高校生・大学生
草刈りボランティア
- ・夏休み宿題お助け隊
- ・稲刈りのサポート



- ・収穫祭の開催
- ・茅葺き民家活用にむけた活動の拡大



4.西谷地区のみらいを考える

西谷地区「夢プラザ」 高校生と高齢者が共に“西谷のみらい”考えました。



	はい	いいえ	無回答
高校生と交流すると自分が活気に溢れてくると思いますか	13	0	3
今回のようなイベントがあると参加したいですか	13	0	3
スマホ教室で困り事は解決しましたか	13	0	3

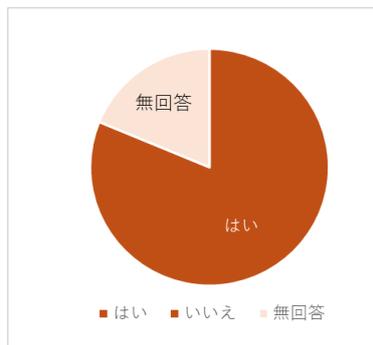
一緒に西谷地区のみらいを考えた高齢者の方にアンケートを実施しました。

アンケート結果

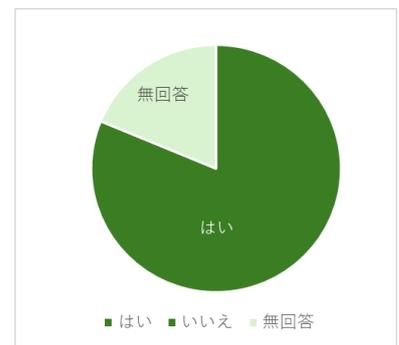
3. 高校生と交流すると活気に溢れてくると思いますか。



2. 今回のようなイベントがあると参加したいですか。



1. スマホ教室で困り事は解決しましたか。



茅葺き民家から広がる全世代型農業体験

西谷地区 “持続可能なみらい”へ

宝塚市立歴史民俗資料館
(兵庫県指定有形民俗文化財)

茅葺き民家の活用

クラウドファンディングで、家の中の環境を整備をし、全世代が交流できる場所へ

生きる力と人つながる学びへ

西谷小・中学校は市内全域から通える特認校に指定されており、今後、幼・小・中で国際バカロレア教育（探究型教育）を導入しようとしている。児童・生徒が、自然と人と関わりの中で、安心して学び、社会と



高齢者の活躍の場へ

高齢者が持つ知恵や経験を子供たちに教える先生として活かせる場を創出する。



交通インフラ整備へ

全世代農業体験で人口の流入を呼びおこし交通の空白解消をはかる。